

歴史書 通信

7

2018 No. 238



歴史書出版事情

[木村靖二]

歴史書新刊ニュース (5・6月)

歴史書以外の人文社会図書
新刊案内 (5・6月)

2018年歴史書ベストフェア
出品/参加書店一覧

歴史系学会・シンポジウム
開催情報

歴史書懇話会

歴史書出版事情

——ドイツの周年記念事業の例から

木村 靖二

(東京大学名誉教授)

歴史学の最新の成果に基づく歴史像と一般国民が抱く歴史像のあいだには大きな開き、溝があることは、何度となく指摘されてきた。この溝を埋めるのも歴史書関係出版社の役割の一つであろう。もっとも歴史書といっても高度な学術書から教育関係図書、一般向けの新書や文庫などさまざままで、そう簡単な仕事ではないだろうが。

ドイツでもこうしたこの溝は大きく、1990年代半ばゴールドハーゲン論争（アメリカの歴史家ゴールドハーゲンが、ホロコーストが可能だったのは当時のドイツ国民の反ユダヤ主義にあると主張した著書をめぐってドイツで起こった論争）はそれを示す好例である。ゴールドハーゲンの説はその後否定されているが、ドイツ歴史学界を愕然とさせ、落胆させたのは、ドイツのマスメディアや若い世代がアメリカ人の歴史家の説に大きな関心を寄せ、その主張に共鳴する動きがあったことである。彼のような極端な議論ではないが、ナチズム体制を多くのドイツ人が支持していたことはドイツの歴史家も著書や講演でくり返し指摘して、国民にも伝わっ

ていたはずと考えていたのである。歴史家の新しい成果・認識を国民に共有してもらい難しさは、近代歴史学の誕生の地ドイツでも同じなのである。

とは言え、ドイツでこうした溝を埋める努力がないわけではない。その一つに、節目となる大きな歴史事象が起こった年から100、150、500年など区切りのよい年を設定し、～周年記念と題してその事象を振り返り、歴史的意義を再検討する機会にする活動がある。宗教改革の始まり、三十年戦争とヴェストファリア条約、ウィーン会議、あるいは48年革命、第一次世界大戦、ナチス・ドイツと暴力など戦争や講和条約、国際会議、政治体制などである。周年記念行事自体は19世紀からあるが、殆どが王家や支配層の正当化祝典行事や地域アイデンティティ育成行事で歴史研究と結びついたものではなかった。

近年の歴史周年事業は、歴史学界、国や当該地域・都市などの自治体、公的歴史博物館・文書館、そして多数の歴史出版社が協力する大規模なプロジェクトになっている。その内容も多

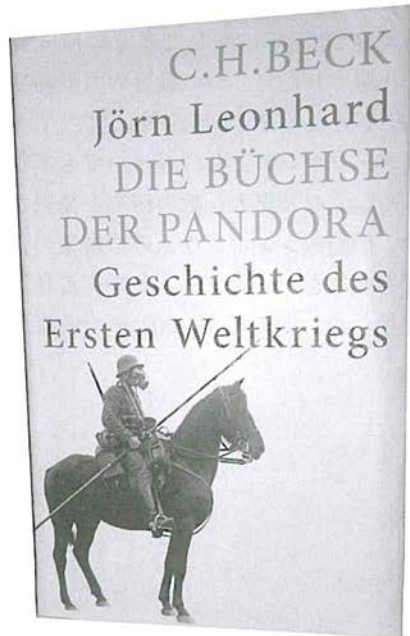
様だが、最近の例をみると、まず歴史家による対象事象の歴史的評価の変遷と最近の研究に基づいた新しい歴史像を提示する文献の出版——これも学術性の高い研究文献から、多数の専門家の論考を集めた一般向けのイラストも豊富な歴史書（歴史家の講演や関連シンポジウムの報告も含まれる）、さらに歴史博物館・文書館などでの関連史料や図・画像の展示、判りやすいガイドブックの提供、マスコミの各種媒体での討論会や紹介などが共通して見られる。

第二次大戦後、ドイツは東西に分断されたため、過去の統一ドイツ時代（神聖ローマ帝国時代）の歴史事象を周年で取り上げることは少なかった。それには東ドイツ（ドイツ民主共和国）が建国の正当性を歴史的ドイツを克服した新生社会主義ドイツにあるとしていたことも影響している。

もっとも、筆者が周年記念に注意を向ける機会になったのは、皮肉にも1987年の東ドイツのベルリン750年祭であった。もちろん当時はベルリンはまだ東西に分断されていたので、ベルリンといっても実際は東ベルリンが対象なので妙に思ったが、ベルリンは東ドイツの首都なのだから挙行したのだろうと納得した。筆者は1980年代前半に西ベルリンの自由大学、東ベルリンのフンボルト大学で一年ずつ客員講師を務めたので、依頼を受けてこの750年祭に関連してベルリン小史を書いたことがある。750年とはベルリン

が都市権（自治権）を認められた年から数えたのだらうと思っていたが、実はベルリンの名が確認できる最古の文書が1287年のもので、そこから起算したと聞いて、こうした周年の数え方もあることを知った。

周年祭や周年記念は西暦の世界ならでのことで、日本も含め元号の世界ではなじみがなく、日本でも元号・西暦併用時代に入ってからのものである。筆者が知る例は1968年に政府が主導した明治百年記念であるが、印象が薄く、政治的性格が前面に出て歴史学界からも反対があったと記憶している。ましてそれが明治維新研究を活性



第一次世界大戦100周年で刊行された代表的な書籍（レオンハルト『パンドラの箱——第一次世界大戦史』）

化させたとは思えない。今年が明治維新 150 年記念の年だが、一般的にも殆ど話題になっていないし、筆者もあれから 50 年も経ったかと気がついた程度である。もっともこうした周年も、たとえば江戸時代 250 年と比較してみると、激動の連続であった日本の近代も、まだ江戸時代の 6 合目に達したに過ぎないことを確認するには役に立つが。

ドイツでは 1990 年の東西ドイツ統一後、一つのドイツとなったことから、第二次世界大戦敗北以前の統一ドイツへの関心が国民の間でも高まり、プロイセン史や第二帝政研究も増えつつある。周年記念も多く、第一次世界大戦を例に取れば、すでに 2004 年に大戦勃発 90 周年に際して多くの研究書が出版されたし、つい最近の大戦勃発 100 年となる 2014 年前後には、イギリス・フランスと共にドイツでも単行本や論文など膨大な数の研究が発表され、国際的シンポジウムの報告集の刊行も相次ぎ、一大ブームと呼べる状況を呈した。その結果 2004 年の成果と

併せると、それまで定説化された戦史重視の大戦像は大きく修正され、一般兵士、銃後社会の変容、さらに非ヨーロッパ世界での反応などの新しい分野も開拓された。

周年に合わせた歴史研究の利点の一つは、当該年が明確なのでかなり前から準備ができることで、膨大な史料がある近現代史研究に取り組むのに絶好の機会を提供し、事実水準の高い成果が多く、それまでの歴史像を革新することも少なくない。一方では周年関連の研究は商業主義に乗せられているという批判もある。しかし研究を進展させ、一般の人々の歴史への関心を高め、新しい歴史像と歴史観を伝えられるというメリットは大きく、共同事業的方法を利用するドイツの試みは今のところ成功しているように思われる。

〈表紙写真〉1918・19年のドイツ革命 100周年で刊行された書籍（ニース『1918・19年の革命』）

新刊ニュース

5・6月の新刊 *発売予定のものもあります

歴史一般 事典／年表・地図／歴史学・補助学

ジャレド・ダイヤモンド、ジェイムズ・A・ロビンソン編著／小坂恵理訳

歴史は実験できるのか

自然実験が解き明かす人類史

四六判 320頁 2,800円 慶應義塾大学出版会 [6月刊]

実験ができないはずの歴史事象について、歴史家・経済学者などが、比較研究や自然実験の統計的手法を用いて新しい歴史研究の可能性に挑む!

978-4-7664-2519-2

佐藤 昇編 神戸大学文学部史学講座著

歴史の見方・考え方

大学で学ぶ「考える歴史」

B5判 176頁 1,500円 山川出版社 [5月刊]

大学で歴史を学ぶ時、どのようなことに着目し、どのように考えるのか。現場で教えるエキスパートたちがそれぞれの視点から要素を紹介する。

978-4-634-64089-4

公益財団法人古代学協会編

角田文衛の古代学 1

後宮と女性

A5判 400頁 5,000円 吉川弘文館 [6月刊]

後宮はすべての淵藪であり、個人的な女性たちがその活動を担った。角田文衛の独壇場の後宮史・人物史をテーマに、珠玉の論考を集成。

978-4-642-07896-2

考古学 概論・通史／日本／アジア／ヨーロッパ／アフリカ／アメリカ／その他

近江俊秀著

入門 歴史時代の考古学

四六判 210頁 2,200円 同成社 [5月刊]

歴史時代の考古学研究に必要な文献史料と考古学資料の検討方法や注意点を、具体例を挙げわかりやすく概説。歴史像に迫る面白さを紹介。

978-4-88621-792-9

下垣仁志著

古墳時代銅鏡論考

B5判 482頁 12,963円 同成社 [5月刊]

膨大な研究史を網羅的に集成・整理し、課題を抽出。さらに多彩な新視角による諸論考を収録。列島出土鏡の全貌を明らかにする。

978-4-88621-793-6

大橋泰夫著

古代国府の成立と国郡制

A5判 254頁 9,500円 吉川弘文館 [6月刊]

地域支配の舞台装置として機能した地方官衙はいかに形成されたか。各地の遺跡を考古学的に分析。律令制下地方統治の実態に迫る。

978-4-642-04649-7

塩谷 修著

霞ヶ浦の古墳時代

A5判 264頁 6,000円 高志書院 [4月刊]

本書では人やモノ、情報の混じり合う「交流」の場が筑波山と霞ヶ浦を軸に展開していたことを解明する。

978-4-86215-178-0

吉田恵二著

文房具が語る古代東アジア

(ものが語る歴史 38)

A5判 288頁 3,600円 同成社 [5月刊]

古代の文房四宝(筆墨硯紙)を取り上げ、とくに中国と日本における硯の出現と展開を中心に論述しながら、古代東アジア史を俯瞰する。

978-4-88621-795-0

日本史

概論・通史／史料／古代／中世／近世／近代／現代／地方史

国立歴史民俗博物館編

わくわく！探検 れきはく日本の歴史 2

中世

B 5判 86頁 1,000円

吉川弘文館 [6月刊]

小中学生が日本の歴史と文化を楽しく学べる新シリーズ。中世の展示をもとにしたストーリー性重視の構成で、大人も楽しめる！

978-4-642-06822-2

小林 忠・五味文彦・浅井和春・佐野みどり＝監修
もういちど訪ねる日本の美 上

A B判 128頁 2,500円

山川出版社 [5月刊]

山川出版社の教材「第Ⅰ期 日本史写真集」を元に編集し、書籍化。大きな写真と最新の研究成果を反映させた解説で、日本の美を再発見する。

978-4-634-59105-9

小林 忠・五味文彦・浅井和春・佐野みどり＝監修
もういちど訪ねる日本の美 下

A B判 120頁 2,500円

山川出版社 [5月刊]

山川出版社の教材「第Ⅰ期 日本史写真集」を元に編集し、書籍化。大きな写真と最新の研究成果を反映させた解説で、日本の美を再発見する。

978-4-634-59106-6

平野邦雄著

帰化人と古代国家（新装版）

四六判 332頁 2,300円

吉川弘文館 [5月刊]

帰化人は新しい大陸文化を伝え、国家組織を革新していった。アジアの中の日本古代を視点に、渡来から我々の祖先となるまでを描く。

978-4-642-08335-5

須田勉・高橋一雄編

古代高麗郡の建郡と東アジア

(古代遼東文化研究1)

A 5判 264頁 6,000円

高志書院 [5月刊]

1300年前に起きた高麗人による建郡にどのような歴史的な意義あるか。東アジアを見通しながら、なぜの解明にたち向かう。

978-4-86215-179-7

山本幸男著

正倉院文書と造寺司官人

A 5判 494頁 11,000円

法蔵館 [6月刊]

正倉院文書の大半を占める写経関連の帳簿類から、当時の官人たちの活動をあぶり出す。古代史研究者必携の一書！

978-4-8318-6243-3

佐藤 信・榮原永遠男・吉川真司編

東大寺の思想と文化

(東大寺の新研究3)

A 5判 640頁 17,000円

法蔵館 [6月刊]

東大寺要録研究会で報告された、東大寺に関する最新研究を収めた論集の最終巻！第3巻は儀礼・建築・教学など多様な視点から検討。

978-4-8318-6023-1

原田信之著

隠徳のひじり 玄賓僧都の伝説

A 5判 270頁 2,600円

法蔵館 [6月刊]

鴨長明や良寛も憧れた「隠者の祖」玄賓僧都。岡山や奈良に残る伝承をまとめ、玄賓僧都の全体像に迫る！歿後1200年記念出版。

978-4-8318-6249-5

佐藤 信・小口雅史編

古代史料を読む 下 平安王朝篇

A 5判 308頁 3,800円

同成社 [6月刊]

日本古代史を学ぶ際に必要な代表的史料をとりあげ、その特徴や読み解き方を第一線の研究者が平易に紹介する、基礎的理解のための入門書。

978-4-88621-784-4

馬場 基著

日本古代木簡論

A 5判 368頁 9,500円

吉川弘文館 [5月刊]

木簡の形態・出土地点や内容・書式・書風・素材を複合的に分析し、古代史研究に活かす方法を提示。律令時代の都城の様相などを描く。

978-4-642-04647-3

奥野陽子著

式子内親王

たえだえかかる雪の玉水

四六判 420頁 3,500円

ミネルヴァ書房 [6月刊]

『新古今和歌集』第一の女流歌人、式子内親王。彼女の虚構の歌の世界には、人生とこの世に対する思索が底流する。その到達点を探る。

978-4-623-08360-2

木本雅康著

日本古代の駅路と伝路

(古代史選書 29)

A5判 278頁 6,000円

同成社 [6月刊]

歴史地理学の立場から、文献史学と考古学の成果をもとに、日本古代の駅路・伝路を具体的に復原。交通路網の実態や機能の変遷を精緻に考察する。

978-4-88621-794-3

荻田慶信著

中世奥羽の仏教

(東北中世史叢書 4)

A5判 360頁 7,000円

高志書院 [5月刊]

平泉の時代から説き起こし、戦国期の本願寺教団の波及にいたるまで、仏教に視座をすえて奥羽社会の実態に迫る。

978-4-86215-180-3

平 雅行著

法然

貧しく劣った人びとと共に生きた僧(日本史リブレットA 28)

A5変型 96頁 800円

山川出版社 [6月刊]

人間の平等を説き、共に支え合う社会を目指した法然。その思想が登場した背景を解明し、専修念仏が迫害された要因を最新の研究成果から考察。

978-4-634-54828-2

石橋一展・植田真平・黒田基樹・駒見敬祐・杉山一弥編

室町遺文 関東編 第1巻

A5判 328頁 17,000円

東京堂出版 [5月刊]

関東の室町時代研究の基礎史料として刊行開始。第1巻には応永元年から応永8年までの文書約770通を収録。

978-4-490-30778-8

黒田基樹・平山 優・丸島和洋・山中さゆり・米澤 愛編

戦国遺文 真田氏編 第1巻

A5判 352頁 17,000円

東京堂出版 [5月刊]

真田氏に関係する史料を体系的に網羅。第1巻には、天文元年から天正18年までの文書約530通を収録。

978-4-490-30788-7

小林清治著作集編集委員会編

戦国期奥羽の地域と大名・郡主

(小林清治著作集 2)

A5判 436頁 8,800円

岩田書院 [6月刊]

氏の単行本未収録論文を、総論、北奥、浜通り・中通り・会津、の各地域ごとに計21編収録。(全3巻2回配本)

978-4-86602-037-2

福井県郷土誌懇談会編 松浦義則ほか著

越前・若狭の戦国

(岩田書院ブックレット・歴史考古学系 24)

A5判 154頁 1,500円

岩田書院 [6月刊]

朝倉氏・武田氏の盛衰を軸に、その領国支配や、寺社・農民・諸集団の活動などを含めて概観する。特論2編収録。

978-4-86602-038-9

西 弥生著

醍醐寺

(中世の寺社と武士 1)

A5判 396頁 8,000円

戎光祥出版 [6月刊]

中世宗教史研究者である著者が、真言宗醍醐派の本山・醍醐寺と武家の関わりについて、多数の論文や史料を用いて解説。幕府や朝廷と密接に結びつく大寺院の実態に切り込む。978-4-86403-292-6

鹿毛徹夫編

戦国大名の土木事業

中世日本の「インフラ」整備 (戎光祥中世史論集 6)

A5判 280頁 3,800円

戎光祥出版 [6月刊]

戦国時代の大名の土木工事について、考古学と文献史学の見地から考察する研究論文集。編者の研究対象である西日本の大名を中心に、各種の普請の歴史について詳解する。978-4-86403-294-0

市川裕士編著

山陰山名氏

(シリーズ・中世西国武士の研究 5)

A5判 448頁 6,800円

戎光祥出版 [6月刊]

鎌倉時代から戦国時代にかけて、中国地方を中心に一大勢力を築いた山陰山名氏の政治的動向や家臣団構成、領国支配、幕府との関係について記した重要論文を収録。978-4-86403-293-3

丸山裕之著

図説 室町幕府

A 5判 176頁 1,800円

戎光祥出版 [6月刊]

近年、注目を集めている室町時代の概説書。各種の史料を用いて室町時代の武家と公家の政治、戦乱、組織などをフローチャートなどでわかりやすく解説する。 978-4-86403-291-9

五味文彦監修

歴史文化遺産 戦国大名列伝

A 5判 256頁予定 1,800円

山川出版社 [6月刊]

天皇や将軍といった支配者から離れて独自の領国経営を行った戦国大名たち。縁のある国史跡・合戦図屏風・鎧など、文化遺産を多数収録。 978-4-634-15134-5

藤木久志著

飢餓と戦争の戦国に行く

(読みなおす日本史)

四六判 264頁 2,200円

吉川弘文館 [5月刊]

中世社会を襲う旱魃・疫病などの災害。略奪や殺害の戦争被害。その実態を克明に探り、民衆に焦点をあてた豊かな歴史像を提示する。 978-4-642-06763-8

水島大二著

和歌山の近世城郭と台場

(図説 日本の城郭シリーズB)

A 5判 242頁 2,500円

戎光祥出版 [6月刊]

紀州藩の本拠・和歌山城や田辺城、新宮城、江戸時代末期に紀州藩が築造した台場（砲台が設置された海防施設）について、各種の図面や史料を用いてわかりやすく解説する。 978-4-86403-288-9

黒田基樹著

戦国北条家一族事典

A 5判 250頁 2,600円

戎光祥出版 [6月刊]

歴代当主、北条氏を支えた一門・重臣たちの系譜や事蹟を徹底解説。花押や印判などの史料についても可能なかぎり収録し、北条氏関連の調べ物にも最適な構成。 978-4-86403-289-6

小林一岳編

日本中世の山野紛争と秩序

A 5判 306頁 7,500円

同成社 [5月刊]

在地村落の秩序形成と権力による紛争介入とが絡まり合って展開する様を、中世のみならず戦国・近世を見通して論述した共同研究の成果。 978-4-88621-786-8

佐々木宗雄著

日本中世国制史論

A 5判 336頁 11,000円

吉川弘文館 [5月刊]

著者独自の視点をもとに初期中世国家論を再構成し、さらに高麗の国制を検討しつつ鎌倉・室町期の国制を解明。その終焉までを見通す。 978-4-642-02946-9

海老澤 稔編

中世荘園村落の環境歴史学

東大寺領美濃国大井荘の研究

B 5判 288頁 9,500円

吉川弘文館 [6月刊]

大井荘の景観を復原し、荘園経営の組織などの実態を解明。輪中城下町形成に向かう姿を現地調査と地理情報システム（GIS）で分析。 978-4-642-02947-6

高橋富雄著

陸奥伊達一族

(読みなおす日本史)

四六判 214頁 2,200円

吉川弘文館 [6月刊]

政宗の時に奥羽の大半を従え、半ば独立王国を築いた伊達氏。鎌倉時代から伊達騒動を経て戊辰戦争で敗れるまでの一族の盛衰史。 978-4-642-06764-5

丹治健蔵著

近世東国の人馬継立と休泊負担

(近世史研究叢書 50)

A 5判 300頁 7,000円

岩田書院 [6月刊]

従来、研究が手薄であった中山道の上州・濃州の宿駅と、房総脇往還の宿駅について考察。 978-4-86602-039-6

玉蟲敏子著

酒井抱一

大江戸にあそぶ美の文人（日本史リブレットA 54）

A 5変型 104頁 800円

山川出版社 [6月刊]

日本の美術史上、琳派の巨匠として知られる酒井抱一。その足跡や交遊・作品を手がかりに、隆盛期の江戸の都市文化を追体験する。 978-4-634-54854-1

福田千鶴著

近世武家社会の奥向構造

江戸城・大名武家屋敷の女性と職制

A 5判 424頁 10,000円

吉川弘文館 [5月刊]

978-4-642-03488-3

倉地克直著

絵図と徳川社会

岡山藩池田家文庫絵図をよむ

A 5判 344頁 4,500円

吉川弘文館 [5月刊]

978-4-642-03487-6

深井雅海著

刀剣と格付け

徳川将軍家と名工たち

A 5判 216頁 1,800円

吉川弘文館 [5月刊]

978-4-642-08334-8

岩下哲典著

江戸無血開城

本当の功労者は誰か? (歴史文化ライブラリー 470)

四六判 208頁 1,700円

吉川弘文館 [6月刊]

978-4-642-05870-4

中西直樹編著

明治前期の大谷派教団

(龍谷叢書 44)

A 5判 252頁 2,800円

法蔵館 [6月刊]

978-4-8318-5554-1

野村乙二朗編

石原莞爾の王道論と淵上辰雄『派遣日記』

魂の呼応

四六判 264頁 2,700円

同成社 [6月刊]

978-4-88621-796-7

岩間 敏著

アジア・太平洋戦争と石油

戦備・戦略・対外政策

A 5判 200頁 3,000円

吉川弘文館 [5月刊]

978-4-642-03876-8

藤田和敏著

近代化する金閣

日本仏教教団史講義

四六判 300頁 2,000円

法蔵館 [6月刊]

978-4-8318-6376-8

森 暢平・河西秀哉編

皇后四代の歴史

昭憲皇太后から美智子皇后まで

A 5判 236頁 2,200円

吉川弘文館 [5月刊]

978-4-642-08333-1

朴敬珉著

朝鮮引揚げと日韓国交正常化交渉への道

A 5判 256頁 5,000円

慶應義塾大学出版会 [5月刊]

978-4-7664-2520-8

林 博史著

沖縄からの本土爆撃

米軍出撃基地の誕生 (歴史文化ライブラリー 468)

四六判 270頁 1,800円

吉川弘文館 [5月刊]

978-4-642-05868-1

当主・妻子が生活する空間[△]奥向[△]。一夫一妻の原則、大名家と将軍家の交流などから、職制や特質を解明し、その全体構造を描く。

絵画的に表現されることもあった近世の絵図。何がいかに描かれたかを検討し、題材選択と描写のはざまにその実用性と政治性を読み解く。

武家社会で重要な贈答品だった刀剣。八代将軍吉宗は古刀重視を改め新刀を奨励した。刀剣の鑑定、刀工の格付けなど刀剣の世界へ誘う。

江戸を戦火から救ったのは勝海舟ではなかった。駿府の敵中に乗り込んだ山岡鉄舟と、鉄舟を推薦した高橋泥舟の動向から真実に迫る。

明治中期、とくに清沢満之以降に注目が集まる近代仏教の中で、明治初期の大谷派教団の動向を見るための史料と解説を収録。

石原が陸軍に絶望した年、側近淵上辰雄も最前線で中国民衆を護る事に挫折した。淵上の綴る戦場日記から、両者の魂の呼応が鮮烈に蘇る。

日本の資源を総動員したアジア・太平洋戦争。国外との輸入交渉、真珠湾攻撃での洋上給油作戦など、総力戦の実態と末路を解明する。

金閣・銀閣を擁する相国寺。貴重な文書群からうかがえる、僧侶たちの苦悩と努力の歩み。新しい視点で捉え直す仏教史。

4人の皇后の役割や社会の中でのイメージは、時代とともに大きく変容してきた。公(表)と私(奥)をテーマに、歩みを描く。

朝鮮引揚げ者の戦後が日韓請求権問題に収斂する過程を描いた注目作。日韓歴史認識問題にも示唆を与える必読の書。

太平洋戦争末期、米軍は沖縄から本土爆撃を開始し九州で無差別攻撃をおこなった。米軍史料から実態に迫り、加害と被害の関係を問う。

世界史

概論・通史／アジア／ヨーロッパ／アフリカ／アメリカ／オセアニア

北村 原著

教養のグローバル・ヒストリー

大人のための世界史入門

四六判 368頁 2,500円

ミネルヴァ書房 [5月刊]

現在の高校世界史Bの教科書にある内容をもとに、地域や文化をつなぐネットワークを俯瞰したグローバル・ヒストリーの通史。

978-4-623-08288-9

南川高志編

378年 失われた古代帝国の秩序

(歴史の転換期②)

四六判 296頁 3,500円

山川出版社 [6月刊]

歴史の転換期第2巻。東西の大帝国が統治能力を失っていった時代にフォーカスし、衰退の経緯とその後の世界はどのように変容したかを検証。

978-4-634-44502-4

趙 軍著

中国における大アジア主義

A 5判 376頁 6,000円

ミネルヴァ書房 [6月刊]

978-4-623-08349-7

「アジアの時代」は存在したのか。李鴻章、中西功など、中国のアジア主義にかかわる人物の活動から読み解く。

中村元哉著

中国、香港、台湾におけるリベラリズムの系譜

四六判 264頁 2,600円

有志舎 [5月刊]

978-4-908672-22-4

香港、台湾、そして中国の民主化を求める動きの奥底にある思想水脈を明らかにし、歴史の中から現代中国への新しい視点を提示する。

山口元樹著

インドネシアのイスラーム改革主義運動

アラブ人コミュニティの教育活動と社会統合

A 5判 296頁 6,400円

慶應義塾大学出版会 [5月刊]

978-4-7664-2517-8

イスラーム運動と国民国家が交錯する中で揺れ動く、外来系マイノリティのアイデンティティ。その変容の軌跡を描く気鋭の力作。

嵩 満也編

変貌と伝統の現代インド

アンベードカルと再定義されるダルマ

A 5判 286頁 2,500円

法蔵館 [5月刊]

978-4-8318-6371-3

「カースト絶滅」を標榜したアンベードカルの思想と、インドの伝統概念「ダルマ」との相関関係が現代インドに及ぼす影響を考察した好論集。

前島訓子著

遺跡から「聖地」へ

グローバル化を生きる仏教聖地

A 5判 328頁 4,800円

法蔵館 [5月刊]

978-4-8318-7385-9

大半が非仏教徒であるインド・ブッダガヤを舞台に、グローバル化の波に巻き込まれつつ仏教最大の「聖地」として蘇るプロセスを考究。

ケネス・ベイカー 著 / 松村昌家訳

風刺画で読み解く イギリス宰相列伝

ウォルポールからメイジャーまで

A 5判 240頁 3,500円

ミネルヴァ書房 [5月刊]

978-4-623-07946-9

英国流ユーモアの真髄、ここに極まれり。本書は、約270年にわたる歴代英国宰相の功と罪を多数の風刺画とともにたどる。

君塚直隆編著

よくわかるイギリス近現代史

B 5判 184頁 2,400円

ミネルヴァ書房 [6月刊]

978-4-623-08318-3

本書は、イギリスの古代・中世から現代までの歴史を網羅。政治・経済・文化という幅広いテーマを扱う入門書。

上野 格・森ありさ・勝田俊輔編

アイルランド史

(世界歴史大系)

A 5判 504頁 6,500円

山川出版社 [6月刊]

978-4-634-46206-9

独自の文化を持ちながら、常に大国「イギリス」に向き合い、分断と統合・独立に揺れたアイルランドを、先史から現代史まで詳細に通観する。

剣持久木編著

よくわかるフランス近現代史

B 5判 212頁 2,600円 ミネルヴァ書房 [5月刊]

フランスの近世から現代までこれ一冊。高等学校教科書からの架橋を念頭に、図版満載で学びやすい入門書。

978-4-623-08260-5

アルフォンサス・エイディンタスほか著

リトアニアの歴史

(世界歴史叢書)

四六判 464頁 4,800円 明石書店 [5月刊]

リトアニアの著名な歴史家たちによって書かれた通史。1009年から2004年のEU加盟に至るまでの壮大な歴史を、豊富な写真・図版とともに描いた。

978-4-7503-4643-4

文化史文化史一般／政治・外交・経済／思想・宗教／
教育・科学／文学・美術・芸術／社会生活

本郷真紹監修・駒井匠編集

考証 日本靈異記 中

A 5判 528頁 10,000円 法蔵館 [5月刊]

日本最古の説話集『日本靈異記』を歴史学的手法で考証を施す。真福寺本を底本に校異・注釈・関連史料を網羅した決定版。

978-4-8318-5698-2

酒井一臣著

帝国日本の外交と民主主義

A 5判 270頁 7,500円 吉川弘文館 [5月刊]

国際協調や不戦条約などを題材に、国民外交論の内実と展開、破綻要因を追究。近代日本の事例から現代の「外交と民意」の関係を問う。

978-4-642-03877-5

ピーター・ノスコ 著／大野ロベルト 訳

徳川日本の個性を考える

A 5判 328頁 4,500円 東京堂出版 [5月刊]

19世紀後半に、なぜ日本は素早く近代化することができたのか、という問いに有益な視座を提供。

978-4-490-20987-7

夏目琢史著

「名著」から読み解く日本社会史

古代から現代まで

四六判 362頁 3,500円 ミネルヴァ書房 [5月刊]

前近代から近代初頭までの「名著」を読み解き、現代の日本社会を歴史学的視点で捉える視座を提供す。

978-4-623-08128-8

田中ひかる編著

社会運動のグローバル・ヒストリー

共鳴する人と思想

A 5判 298頁 3,000円 ミネルヴァ書房 [5月刊]

19世紀から現代までの世界史上の国境を越える社会運動に焦点を当てながら、歴史をグローバルに学ぶ。

978-4-623-08287-2

青木歳幸・大島明秀・W.ミヒェル編

天然痘との闘い 九州の種痘

A 5判 342頁 7,200円 岩田書院 [6月刊]

科研「九州諸地域の種痘伝播と地域医療の近代化に関する基礎的研究」の最新の成果22編を収録する。

978-4-86602-036-5

青木 馨著

本願寺教団展開の基礎的研究

戦国期から近世へ

A 5判 458頁 9,800円 法蔵館 [5月刊]

蓮如期の真宗門徒急増を受けて成立した在地道場が、どのような伝承・由緒をもとに「近世的寺院」へと展開したかを考察する。

978-4-8318-7714-7

成瀬隆純著

唐代浄土教史の研究

A 5判 300頁 6,500円 法蔵館 [5月刊]

従来見過ごされてきた唐代浄土教史の問題点を抽出し、表層的に語られてきた浄土教史に一石を投じる意欲作！

978-4-8318-6373-7

柳澤正志著

日本天台浄土教思想の研究

A 5判 500頁 7,500円

法藏館 [5月刊]

日本天台浄土教の祖、源信の思想と、法華・浄土が一体となった日本天台浄土教の諸様相を解明する。

978-4-8318-7384-2

加瀬直弥著

古代の神社と神職

神をまつる人びと（歴史文化ライブラリー 467）

四六判 236頁 1,700円

吉川弘文館 [5月刊]

立地や社殿に注目し神社の重要性を解明。神職の務めや平安朝廷の神職制度で生まれた神社の共通性から、神社と神職のあり方を考える。

978-4-642-05867-4

安高啓明著

踏絵を踏んだキリシタン

（歴史文化ライブラリー 469）

四六判 288頁 1,800円

吉川弘文館 [6月刊]

絵踏はなぜ形骸化したか。作法・形態・素材変更等を解明。キリシタン捜索手段から信者でないことを証明する手段への変容過程を探る。

978-4-642-05869-8

石井香江著

電話交換手はなぜ「女の仕事」になったのか

技術とジェンダーの日独比較社会史

A 5判 432頁 6,500円

ミネルヴァ書房 [5月刊]

技術史的側面と「男性の仕事」「女性の仕事」の棲み分けを作り上げた社会の側面とを広範な日独の史料と文献、そして身体論から示す

978-4-623-08066-3

渡辺秀夫著

かくや姫と浦島

物語文学の誕生と神仙ワールド（場選書 123）

B 6判 298頁 2,800円

塙書房 [5月刊]

かくや姫は、成立時に流行した中国文学の「神仙」の影響を受けている。文化の多様性に着目し、日本の古典文学を読み解く面白さを紹介する。

978-4-8273-3123-3

ピーター・チャップマン 著 / 小澤卓也・立川ジェームズ 訳

バナナのグローバル・ヒストリー

いかにしてユナイテッド・フルーツは世界を席巻したか

四六判 352頁 3,500円

ミネルヴァ書房 [5月刊]

バナナが世界に広まっていく歴史的展開について、ユナイテッド・フルーツの盛衰を軸に、グローバル・ヒストリーの視点から描き出す。

978-4-623-08331-2

佐藤久光編

四国猿と蟹蜘蛛の明治大正四国霊場巡拝記

A 5判 244頁 5,400円

岩田書院 [5月刊]

ベンネーム「四国猿」と「蟹蜘蛛」による、明治大正期の2種の新聞連載記事を収録し、解題を付す。

978-4-86602-032-7

佐々木美智子著

「俗信」と生活の知恵

揺籃期の民俗誌から

A 5判 414頁 9,200円

岩田書院 [6月刊]

生活に溶け込んだ俗信、すなわち「生活の知恵」を発掘し意義づけ、伝統社会に生きてきた「俗信」の実体を認識する試み。

978-4-86602-041-9

鈴木岩弓・森 謙二編

現代日本の葬送と墓制

イエウキ時代の死者のゆくえ

A 5判 240頁 3,800円

吉川弘文館 [6月刊]

葬儀・埋葬・造墓は社会変動の波を受け変貌してきている。葬送をめぐる個と群の価値観の変化を辿り、21世紀の死者のゆくえを展望。

978-4-642-08202-0

エピソードで読む世界の国編集委員会編

2018-2019 エピソードで読む世界の国 243

B 5判 304頁 1,600円

山川出版社 [5月刊]

さまざまなエピソードと歴史で世界の国と地域243を楽しく解説。迫るワールドカップの楽しみ方が基礎からわかる巻頭特集あり。

978-4-634-15131-4

バラク・クシュナー著

ラーメンの歴史学

ホットな国民食からクールな世界食へ

四六判 384頁 2,500円

明石書店 [6月刊]

ケンブリッジ大学の「ラーメン博士」が1000年前から現代のグローバル化まで、ラーメンの歴史を縦横無尽に論ずる。

978-4-7503-4681-6

伝記

胤谷 寿著

藤原彰子

天下第一の母

四六判 340頁 3,000円

ミネルヴァ書房 [5月刊]

藤原彰子に仕えた紫式部や和泉式部をはじめとする才媛の日記や文学資料を織り交ぜながら、丹念に資料を読み解き彰子の生涯を描く。

978-4-623-08362-6

雑誌

日本歴史

日本歴史学会編集

6月号(第841) = 5月刊

7月号(第842) = 6月刊

日本史専門の月刊誌として、また最も親しみやすい歴史知識の普及誌として、研究者から一般社会人まで、幅広い各層が購読。

一年間直接購読料 8,300円〔税・送料込〕

◆各種割引制度有

二年間前払い 16,000円〔税・送料込〕

三年間前払い 23,500円〔税・送料込〕

学生・院生 一年間 5,000円〔税・送料込〕

A5判 6月号 = 130頁、7月号 = 130頁

6月号 = 741円、7月号 = 741円

吉川弘文館 [5・6月刊]

歴史書以外の
人文社会図書新刊案内

2018. 5・6

明石書店

没落するキャリア官僚 エリート性の研究 中野雅至著……………A 5判 2,500円 5月
中国年鑑 2018 一般社団法人中国研究所編……………B 5判 18,000円 5月

歴史書懇話会ホームページ

<http://www.hozokan.co.jp/rekikon/>

歴史書懇話会会員社ホームページ

明石書店	http://www.akashi.co.jp/
東京堂出版	http://www.tokyodoshuppan.com/
刀水書房	http://www.tousuishobou.com/
同成社	http://www.douseisha.co.jp/
塙書房	http://rr2.hanawashobo.co.jp/
法藏館	http://www.hozokan.co.jp/
ミネルヴァ書房	http://www.minervashobo.co.jp/
山川出版社	https://www.yamakawa.co.jp/
吉川弘文館	http://www.yoshikawa-k.co.jp/

歴史書懇話会とは

50th
歴史書懇話会

〒113-0033 東京都文京区本郷7-2-8 吉川弘文館内

1968年6月に歴史書を刊行する有志出版社7社で結成され、現在9社が加盟しています。結成以来50年、「すぐれた歴史書の普及とその販売を積極的に推進する。本会はその目的達成のため、会員相互の協力によって必要な研究ならびに事業を行う。」(会規約)の精神に基づき活動しています。

〈歴史書懇話会〉の主な事業

◆「歴史書通信」(隔月刊)最新の歴史書情報を提供しています!

会員各社の新刊・重版情報、誌上フェア、書店情報を掲載する出版情報誌。歴史関連のエッセイなども掲載し、歴史知識の普及をはかっています。ご購入を希望される方は最寄の書店を通して、事務局までお申込み下さい。

◆「歴史書ベストフェア」小規模書店にも本格派の歴史書を!

全国約95書店で会員社の歴史書34冊余を1年間展示販売しています。選択セットを加え、最大規模は180冊のセットとなります。出品リスト及び販売店一覧は「歴史書通信」5月号に掲載します。

◆「歴史リバイバル」復刊書フェアとしてご好評いただいています。

統一復刊・重版事業「歴史リバイバル」を実施しています。
一社では困難な専門書の復刊・重版を共同で行う活動です。読者から要望の多い名著や基本図書を復刊し、毎回100店近い書店・大学生協で店頭フェアを展開しています。

◆「ホームページ」&「メール通信」による情報発信

当会のホームページでは、新聞書評情報、歴史書の検索、書店フェアや各社の新刊案内、歴史書懇話会からメール通信を配信するメールアドレス登録の受付、「歴史書通信」PDF版などを掲載しています。

メール配信のお申込みは<http://www.hozokan.co.jp/rekikon/>からお願いします。

歴史書懇話会 会員社

明石書店・東京堂出版・刀水書房・同成社・塙書房
法蔵館・ミネルヴァ書房・山川出版社・吉川弘文館

2018年〔歴史書〕ベストフェア

▶出品／参加書店一覧◀

歴史の深遠へと誘う水先案内人

明石書店

ロシアの歴史を知るための50章	下斗米伸夫 編著	2,000円
イタリアの歴史を知るための50章	高橋進・村上義和 編著	2,000円
イギリスの歴史を知るための50章	川成洋 編著	2,000円
スペインの歴史を知るための50章	立石博高・内村俊太 編著	2,000円

東京堂出版

くずし字解読辞典（普及版）	見玉幸多編	2,200円
くずし字用例辞典（普及版）	見玉幸多編	5,800円
日本史年表 増補5版	東京学芸大学日本史研究室編	2,700円
齋藤孝の一気読み！ 日本近現代史	齋藤孝著	1,600円

刀水書房

魔女と魔女狩り	W. ベーリンガー著／長谷川直子訳	3,500円
これが歴史だ！ 21世紀の歴史学宣言	グルディ&アーミテイジ著／平田雅博・細川道久訳	2,500円
直良信夫の世界	20世紀最後の博物学者 杉山博久著	2,500円

同成社

遺跡でたどる邪馬台国論争	中村俊介著	1,900円
百舌鳥・古市古墳群	一瀬和夫著	1,200円
物部氏の伝承と史実	前田晴人著	2,300円
六十の手習い 古文書を読む	山本光正著	1,700円

塙書房

近代日本・朝鮮とスポーツ	一支記と抵抗、そして協力へー 金 誠著	2,400円
儀式でうたう やまと歌	一木簡に書き 琴を奏でー 犬飼 隆著	1,200円
地藏信仰	速水 侑著	800円
八幡信仰	中野幡能著	950円

※表示価格はすべて本体価格です。

法 藏 館

仏教史研究ハンドブック 仏教史学会編	2,800 円
近代仏教スタディーズ 大谷栄一・吉永進一・近藤俊太郎編	2,300 円
京都地蔵盆の歴史 村上紀夫著	2,000 円
「天橋立学」への招待 天橋立世界遺産登録可能性検討委員会編	1,500 円

山川出版社

新 もういちど読む山川 日本史 五味文彦 / 鳥海靖編	1,600 円
新 もういちど読む山川 世界史 「世界の歴史」編集委員会編	1,600 円
世界史 / いま、ここから 小田中直樹 / 帆刈浩之編	2,300 円
詳説世界史研究 木村靖二 / 岸本美緒 / 小松久男編	2,500 円
詳説日本史研究 佐藤信 / 五味文彦 / 高埜利彦 / 鳥海靖編	2,500 円

吉川弘文館

牛車で行こう！ 京楽真帆子著	1,900 円
歴代天皇・年号事典 米田雄介編	1,900 円
ここまで変わった日本史教科書 高橋秀樹・三谷芳幸・村瀬信一著	1,800 円
日本史を学ぶための古文書・古記録訓読法 日本史史料研究会監修 / 薊米一志著	1,700 円
タネをまく縄文人 小畑弘己著	1,700 円
ステップアップ古文書の読み解き方 天野清文・実松幸男・宮原一郎著	2,400 円

2018年歴史書ベストフェア 参加書店一覧

2018年4月1日

北海道

釧路市 コーチャンフォー釧路店

札幌市 北海道大学生協
クラーク店

千歳市 文教堂書店千歳店

岩手県

紫波郡 本のくずおか

秋田県

秋田市 スーパーブックス
八橋店

山形県

山形市 こまつ書店寿町本店

天童市 八文字屋天童店

米沢市 こまつ書店堀川町店

福島県

相馬市 文芸堂書店相馬店

会津若松市 西沢書店会津アピオ店

茨城県

古河市 セキグチ書店

群馬県

吾妻郡 戸田書店中之条店

桐生市 戸田書店桐生店

高崎市 戸田書店高崎店

沼田市 戸田書店沼田店

館林市 聞声堂

前橋市 煥乎堂

太田市 ブックマンズ
アカデミー太田店

埼玉県

さいたま市 板山明文堂

久喜市 ACADEMIA
菖蒲店

東京都

三鷹市 啓文堂書店三鷹店

世田谷区 文教堂書店経堂店

町田市 久美堂小田急町田店

神奈川県

茅ヶ崎市 長谷川書店
ネスバ茅ヶ崎店

平塚市 紀伊國屋書店
東海大学ブックセンター

新潟県

上越市 戸田書店上越店

加茂市 番場堂

富山県

高岡市 文苑堂書店福田本店

高岡市 文苑堂書店新野村店

高岡市 喜久屋書店高岡店

黒部市 山谷書店黒部店

富山市 精文堂書店

富山市 文苑堂書店藤の木店

石川県

野々市市 うつのみや上林店

野々市市 うつのみや金沢工大前店

山梨県

都留市 都留文科大学生協

長野県

小諸市 竹澤書店野岸店

伊那市 ニシザワいなっせ店

山形村 興文堂iCITY

松本市 興文堂平田店

諏訪市 せいりん堂

岐阜県

岐阜市 カルコス本店

岐阜市 丸善岐阜店

瑞穂市 カルコス穂積店

大垣市 ACADEMIA大垣店

中津川市 矢野書店

静岡県

浜松市 安間書店

愛知県

名古屋市 ザ・リブレットイオン
千種店

名古屋市 ザ・リブレット徳重店

小牧市 カルコス小牧店

千種市 らくだ書店本店

熱田区 日比野泰文堂

三重県

津市 青山書店

滋賀県		奈良市 啓林堂書店奈良店	高松市 宮脇書店総本店
高島市 玉垣芳文堂	奈良市 豊住書店	坂出市 宮脇書店坂出白金店	
彦根市 太田書店	奈良市 たつみ書店サントウン店		
京都府		和歌山県	
木津川市 宮脇書店木津川店	橋本市 ツモリ西部店	松山市 新丸三書店本店	
左京区 葵書房	田辺市 多屋孫書店		
西京区 葵書房洛西店		高知県	
北区 仏教大学書籍部		高知市 金高堂朝倉ブックセンター	
大阪府		福岡県	
大阪市 ジュンク堂書店近鉄あべのハルカス店		北九州市 喜久屋書店小倉南店	
大阪市 三栄書房	岡山県		
大阪市 西坂書店	高梁市 開進堂書店高梁店		
	総社市 荒木書店	長崎県	
兵庫県			長崎市 メトロ書店本店
加古川市 宮脇書店加古川店	広島県		
加西市 西村書店	世羅郡 ブックセンターアオイ甲山店	大分県	
洲本市 宮脇書店洲本店		大分市 ジュンク堂書店大分店	
姫路市 黒田書店	徳島県		
姫路市 大塚書店	徳島市 井関書店	宮崎県	
	徳島市 附家書店国府店	都城市 田中書店イオンモール都城駅前店	
奈良県			都城市 田中書店妻ヶ丘本店
奈良市 たけだ書店	香川県		
奈良市 新風堂書店	高松市 ジュンク堂書店高松店	鹿児島県	
大和郡山市 喜久屋書店大和郡山店	高松市 宮脇書店本店	鹿児島市 ジュンク堂書店鹿児島店	

◆歴史書懇話会は今年2018年6月、50周年を迎えました。1968年6月に歴史書を刊行する有志出版社7社で結成され、現在9社が加盟しています。結成以来、「すぐれた歴史書の普及とその販売を積極的に推進する。本会はその目的達成のため、会員相互の協力によって必要な研究ならびに事業を行う」（会規約）の精神に基づき活動しています。

◆悲しいニュースです。既にご存知の方もおいでかと思いますが、去る3月9日夜、校倉書房代表取締役の石田亘さんが急死なさいました。石田さんは歴史書懇話会開始後すぐに、参加なさり、以来50年近く私たち歴史書懇話会を支え続けて下さいました。石田さん、長い間本当にありがとうございました。ご冥福をお祈り申し上げます。

◆50周年を記念して、多くの書店様との記念フェア等、様々な企画を致します。皮切りは6月25日開始のジュンク堂書店池袋店フェア「私たちは50年の間、このような本を作ってきました—わが社を代表する歴史書たち」です。是非お訪ね下さい。

◆月代わりで「歴史書懇話会・今月のオススメ」の連続ミニフェアを次の6書店で開催しています（かっこ内はフェア開始の日付）。◇天童市 TENDO 八文字屋（2006年7月～）／◇新潟紀伊國屋書店新潟店（2007年8月～）◇松江市今井書店グループセンター店（2008年6月～）／◇大阪市喜久屋書店阿倍野店（2013年11月～）／◇出雲市今井書店出雲店（2014年7月～）／◇名古屋市ジュンク堂書店名古屋ロフト店（2015年6月～）。

.....

■さて、4月28日夜NHKのETV「平和に生きる権利を求めて—恵庭・長沼事件と憲法」を観ました。◆前半は、自衛隊の合憲・違憲が争われた恵庭事件（1962年）・長沼ナイキ基地訴訟（1969年）で、日本国憲法に明記されている「平和的生存権」が提起されました。この恵庭裁判の録音が、テレビで初めて公開されたのです。長沼訴訟では札幌地裁で1973年「平和的生存権」は認められたのですが、最高裁で破棄されました（1982年）。◆後半は、名古屋市民による「航空自衛隊イラク派遣違憲訴訟」でした。市民たちが「平和的生存権の侵害である」として国を訴えた訴訟です。2008年の判決で、原告側は派遣差し止めが却下され敗訴しながらも、初めて示された違憲判断「自衛隊による多国籍軍兵士の空輸は憲法9条に違反する」を「画期的判決」と評価。被告である国側は勝訴ゆえに最高裁に上告できずに、この判決が確定しました。この判決を下した青山邦夫裁判長の「権利はそれなりに発生して発展してゆくものだ。不断に自分らで守る努力をしなければ、失われてしまう…」の言葉は重いです。◆私たちは日本国民が日本国憲法前文にある「平和のうちに生存する権利を有する」ことを確認します。私たちは「平和に生きる権利」を守り抜きたいと思います。

(FN)

歴史系学会・シンポジウム開催情報

2018年度 大阪歴史学会 大会・総会

会期＝2018年6月24日 会場＝大阪市立大学 杉本キャンパス全学共通教育棟

◆問合せ＝学会HP問合せフォームより ◆HP＝詳細あり

2018年度 歴史教育者協議会 第70回 京都大会

会期＝2018年8月4日（全体会）～6日 ※ほか現地見学会などあり

会場＝同志社中学校・高等学校

◆問合せ＝同会事務局 jimukyoku@rekkyo.org ◆HP＝詳細あり

もういちど訪ねる

日本の美 上下

小林 忠・五味文彦
浅井和春・佐野みどり
監修

教科書にも載っている、選りすぐりの仏像・屏風・建築などをオールカラーで紹介。大きな写真と最新の研究成果を反映させた解説で、日本の美を再発見する。 AB判
上・128頁/下・120頁 各本体2500円



アナウンサーが読む

もういちど読む

山川日本近代史

鳥海靖著/土居壮朗読

ロングセラー「もういちど読む」シリーズの、日本近代史と倫理に音声DVDが付いて新登場! 「聞く」「聞きながら読む」「読む」ニーズに合わせて気軽に学べる、忙しい現代人のための教養書。 WAV・MP3形式音声DVD付き A5判 各本体2200円

アナウンサーが読む

もういちど読む

山川倫理

小寺聡編/河野明子朗読

① B.C.220年 帝国と世界史の誕生

南川高志編 ローマ帝国と秦漢帝国を中心に、同時代の人々が「帝国」という現実に向き合ったのかを多角的に考察する。 四六判 280頁 本体3500円

② 378年 失われた古代帝国の秩序

南川高志編 ローマのアドリアノープルの戦いや、中国の淝水の戦いなどをとりあげ、東西の帝国がいかにして統治能力を失っていったか、その後の世界はどのように変容したかを検証する。 四六判 296頁 本体3500円

歴史の見方・考え方

「大学で学ぶ」「考える歴史」

佐藤 昇編
神戸大学文学部史学講座著
大学で歴史を学ぶとはどういうことか。何に着目し、どのように考えるのか。現場で教えるエキスパートたちがそれぞれの視点から「歴史学」のエッセンスを紹介する。
B5判 176頁 本体1500円

日本近世史研究と歴史教育



高荃利彦編
歴史学研究成果と教科書記述との関連や、それらをふまえた授業の構想など、日本近世史を題材に、歴史学研究与歴史教育の接続を考える。
A5判 224頁 本体2000円

いま学ぶ アイヌ民族の歴史

加藤博文・若園雄志郎編
高校日本史の枠組みを基礎において、古代から現代の時代ごとに、北海道島と先住民族であるアイヌの歴史をまとめた書。
B5判 164頁 本体2000円

2018 2019 エピソードで読む 世界の国 243

エピソードで読む
世界の国編集委員会編

世界の国と地域243を歴史と雑学エピソードを交えて紹介。豊富な写真資料と各国の基礎的データや概説史のほか、FIFAワールドカップ2018とラグビーワールドカップ2019の楽しみ方が基礎からわかる巻頭特集も収録。オールカラー。
B5判 304頁 本体1600円

470 469
安高啓明著
踏絵を踏んだキリシタン
江戸無血開城

本場の功勞者は誰か？

岩下哲興著 戊辰戦争で江戸を戦火から救った功勞者は勝海舟ではなかった。駿府の敵中に入り込んだ山岡鉄舟と、將軍慶喜の信頼をもとに、鉄舟を推薦した高橋泥舟、二人の動向を当時の情勢とともに追い、真実に迫る。17000円

18000円

現代日本の葬送と墓制

鈴木岩戸・森 謙一編 イエウキ時代の死者のゆくえ 38000円
家族制度がゆらぎ、無縁化する葬儀、葬儀、埋葬、造墓などは遺された者の役割だが、社会変動の波を受けて大きく変換してきている。葬送をめぐる個と群の相克や価値観の変化を辿り、二十一世紀の死者のゆくえを展望。

陸奥伊達一族

（読みなおす） 高橋富雄著 22000円
「独眼竜」政宗の時に奥羽の大半を従え、半ば独立王国を築いた伊達氏。鎌倉時代から南北朝・戦国を勝ち抜き、天下人とわたりあい大藩を維持。伊達騒動を経て戊辰戦争で敗れるまで、東北史に欠かせない一族の盛衰史。

刀剣と格付け

徳川將軍家と 深井雅海著 18000円
名工たち

武家社会における贈答品として中世以来重用されてきた刀剣。八代將軍吉宗は、古刀重視の風潮を改め新刀を奨励し、贈答の簡素化を目指す。刀剣の鑑定・享保名物帳の成立、刀工と格付けなど、奥深い刀剣の世界へ誘う。



2018 復権書物

帰化人と古代国家 新装版

いまなぜ帰化人か。古代史の泰斗による「渡来人」概念に終止符を打つ決定版 23000円
長谷川博史著

戦国大名尼子氏の研究

戦国動乱の中に滅亡し、実態が不明であった尼子氏の実像を描き出す。 80000円
岩田みゆき著

幕末の情報と社会変革

身分を超えた広範な情報伝達構造を解明。幕末社会に与えた影響を考察する。 90000円
岩田みゆき著

都市の空間史

「プロトナ」建築と都市の関係にも論及し、重層的伊藤 毅著 90000円
空「空間」から新たな都市史を構築する。

「故郷」という物語

（ニューヒストリー近代日本） 成田龍一著 26000円
十九世紀後半、故郷をあとにした青年たちの都市体験が生んだ文化史。

古代国府の成立と国郡制

角田文衛の古代学 ⑨後宮と女性 公益財団法人古代学協会編 95000円
大橋泰夫著

中世荘園村落の環境歴史学

東大寺領美濃国 大井庄の研究 海老澤 真樹 50000円
浅草寺史料編纂所・浅草寺日記研究会編 95000円

浅草寺日記 第38巻

浅草寺日記研究会編 95000円

全5巻

わくわく! 探れきはく

日本の歴史

国立歴史民俗博物館編
各10000円
(内容案内)送呈

最新刊) 小中学生から大人まで、日本の歴史と文化を楽しく学べる

② 中世

平安の都で貴族はどう暮らしていた？
武士はいつも戦っていた？ 農民や職人、商人はどんな仕事をしていた？
中世日本を探検しよう。

既刊) ①近世 ⑤民俗
(続刊) ④先史・古代 ⑥近代・現代



吉川弘文館

〒113-0033・東京都文京区本郷2-2-8 PR誌『本郷』定期購読受付中
電話03-3813-9151(代表)/FAX 03-3812-3544/表示価格は税別です

歴史書懇話会

▶ 会員社名簿 ◀

- 明石書店 101-0021 千代田区外神田 6-9-5 〈担当者：深谷直樹〉
TEL. 03-5818-1171 FAX. 03-5818-1174
- 東京堂出版 101-0051 千代田区神田神保町 1-17 〈担当者：力久尚之〉
TEL. 03-3233-3741 FAX. 03-3233-3746
- 刀水書房 101-0065 千代田区西神田 2-4-1 〈担当者：中村文江〉
TEL. 03-3261-6190 FAX. 03-3261-2234
- 同成社 102-0072 千代田区飯田橋 4-4-8 〈担当者：工藤龍平〉
TEL. 03-3239-1467 FAX. 03-3239-1466
- 塙書房 113-0033 文京区本郷 6-8-16 〈担当者：関口守俊〉
TEL. 03-3812-5821 FAX. 03-3811-0617
- 法藏館 600-8153 京都市下京区正面烏丸東入 〈担当者：西村明高〉
TEL. 075-343-5656 FAX. 075-371-0458
- ミネルヴァ書房 [本 社] 607-8494 京都市山科区日ノ岡堤谷町 1
TEL. 075-581-0296 FAX. 075-581-0589
[東京支社] 〒 101-0062 千代田区神田駿河台 3-6-1 菱和ビルディング 2F
TEL. 03-3525-8460 FAX. 03-3525-8461 〈担当者：須藤 圭〉
- 山川出版社 101-0047 千代田区内神田 1-13-13 〈担当者：菊池敏彦〉
TEL. 03-3293-8132 FAX. 03-3292-2994
- 吉川弘文館 113-0033 文京区本郷 7-2-8 〈担当者：春山晃宏〉
TEL. 03-3813-9151 FAX. 03-3812-3544

2018年7月1日発行・第238号

発行 **歴史書懇話会**

113-0033 文京区本郷 7-2-8 吉川弘文館内
(非売品)

取扱店

法藏館書店

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458